

【事業実績】

1 博物館自然史資料の有効活用

鹿児島県立博物館(以下、当館)に収蔵されているトカラ列島及び天然記念物等資料(昆虫類標本と脊椎動物のはく製)から3Dモデルデータ、と2D画像を制作した。これらを一部Web公開するとともに、作成したデジタルコンテンツを活用し、村営船「フェリーとしま2」内で移動博物館(船内企画展)「島を旅する博物館」を実施した。

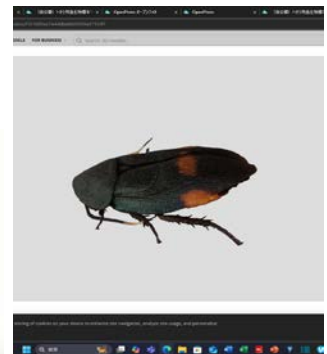
(1) 自然史資料のデジタル化と発信

3Dモデルデータ: Sketchfab 上で公開

- ・アマミノコギリクワガタ <https://sketchfab.com/3d-models/a90ab14582034bfc836d8a945fc85520>
- ・キンモンフタオタマムシ <https://sketchfab.com/3d-models/4226734af9d74236bd4c5e2665f85c34>
- ・アカボシリゴキブリ <https://sketchfab.com/3d-models/f151680ea1fe44dbb0d5f369a87158f72d>
- ・アマミノクロウサギ <https://sketchfab.com/3d-models/63d72539900b4662aa3a32f8b4c5a425>

2D画像: OpenPhoto 上で公開

(仮公開)トカラ列島生物標本写真ライブラリー <https://openphoto.app/c/kagohaku>



(2) 「島を旅する博物館」(フェリーとしま2 船内移動博物館)の実施

期 日 令和7年1月10日(金)~15日(水) 鹿児島ー奄美大島往復2航海(十島村各島経由)

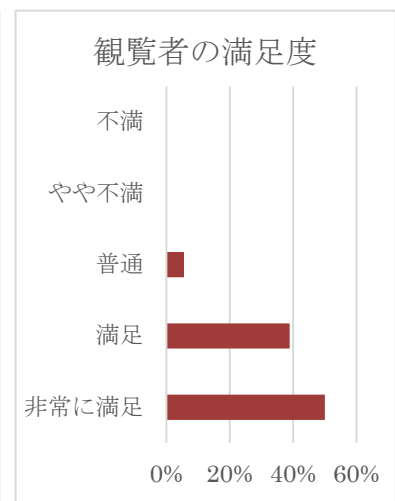
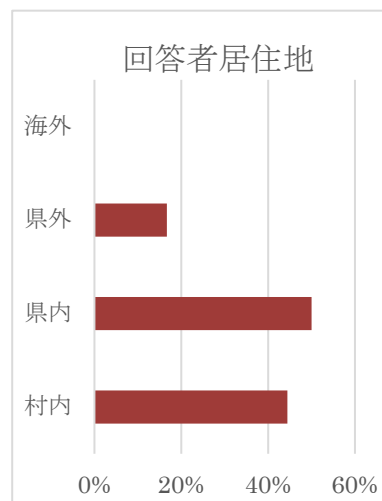
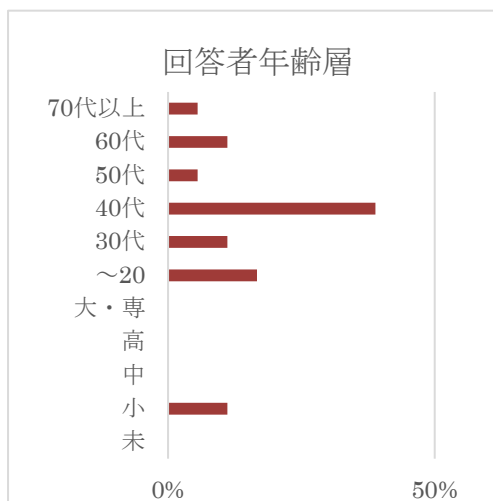
会 場 十島村営船「フェリーとしま2」船内

観覧者 乗船客(幼児・児童・生徒・一般) 計421人



□参加者の声

「このような展示は事業の地域還元のために良い取組と感じた」「人との出会いがあり楽しかった」「その辺に普通にいる虫さんは改めて世の中に知られていないことが分かった」「リアルな生き物を体感できた」「各島の特色や特徴を知ることができた」など



○効果・今後の展開

展示資料の一部デジタル化により、出前授業や移動展示で輸送する標本やはく製の数量が軽減される。今回は、輸送コンテナやトラック等が不要だったことと、連携先である十島村の多大な協力により、小規模で経済的な展示活動が実現できた。今後、特に離島地域で、博物館活動を展開する際の先駆的な事例となる。

2 県民と十島村民を結ぶ「トカラ列島の自然」体験プログラム

気軽に来館できない離島地域の住民等に、体験型プログラムの実施や自然史資料の活用をとおして居住する地域と鹿児島県の生物多様性、自然の豊かさを分かりやすく伝えることができた。また、自然環境の保全や保護意識の醸成が図られるように、研究者による講演会や昆虫調査活動体験、義務教育学校にて研究者や当館職員による「出前授業」を実施した。

(1) トカラ列島の自然に親しむ自然観察講座「虫博士とみるトカラの自然」in 宝島の実施

期 日 令和6年10月27日(日) 宝島

会 場 宝島出張所(コミュニティセンター)とその周辺

参加者 宝島在住者(幼児・児童・一般) 計28人

□参加者の声

「いろいろな虫が見られてよかった」「島の自然の豊かさに気づけた」「島の自然を保護・保全への取組を考えたい」「地域の自然資源を再認識した」など



(2) 「トカラ列島と鹿児島県の自然」をテーマに義務教育学校での出前授業の実施

①十島村立宝島学園

期 日 令和6年10月28日(月) 宝島

参加者 学園児童(1年生)・職員4人 計9人

②十島村立中之島学園

期 日 令和7年1月21日(月) 中之島

参加者 学園児童・生徒(1～8年生)・職員7人 計21人



○効果・今後の展開

地域の独特な自然環境やその生態系の多様性について学びの場を提供した。条例により昆虫保護が推進されている地域であるが、科学的な視点から、身近な環境を見直し、住民自らの考えや方法で環境に対する積極的な行動につながることを期待する。